



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 ロート製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4527

URL https://www.rohto.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉本 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 斉藤 雅也

(TEL) 06-6758-8223

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	129,611	△6.2	17,062	△5.9	17,426	△3.6	11,083	△11.8
2020年3月期第3四半期	138,119	2.5	18,126	5.4	18,072	2.6	12,562	15.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 10,757百万円(14.0%) 2020年3月期第3四半期 9,434百万円(11.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	97.16	96.88
2020年3月期第3四半期	110.17	109.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	215,226	147,772	68.2
2020年3月期	215,301	140,032	64.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 146,728百万円 2020年3月期 138,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2021年3月期	—	13.00	—		
2021年3月期(予想)				14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,000	△2.8	21,800	△5.6	22,100	△2.8	14,000	△9.2	122.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期3Q	118,089,155株	2020年3月期	118,089,155株
2021年3月期3Q	4,019,044株	2020年3月期	4,018,988株
2021年3月期3Q	114,070,149株	2020年3月期3Q	114,030,580株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により経済活動が制限されるなど、厳しい事業環境が続きました。個人消費につきましても、消費マインドの低下が進み景気の先行きは依然として不透明な状態のまま推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは世界の人々が身体も心もイキイキと様々なライフステージにおいて笑顔あふれる幸せな毎日を過ごせるよう「Connect for Well-being」のスローガンを掲げ、さらなる企業価値の向上を目指して取り組んでおります。

その結果、売上高は1,296億1千1百万円（前年同期比 6.2%減）となりました。日本におきましては、一時的な持ち直しの動きがあったものの、11月以降に新型コロナウイルス感染症の再拡大が進んだことによる影響に加えマスク文化の定着もあり、リップクリームなどが減収となりました。しかしながら、前連結会計年度末に子会社となった(株)日本点眼薬研究所の売上が寄与いたしました。海外におきましても、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行の影響により各地域とも減収となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費の効率的活用に努めたものの、売上が減少したことに加え、研究開発費が増加した結果、営業利益は170億6千2百万円（同 5.9%減）、経常利益は174億2千6百万円（同 3.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、関係会社株式売却による売却益がありました。子会社の固定資産減損損失があったことにより110億8千3百万円（同 11.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(日本)

外部顧客への売上高は、836億7千1百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症の再拡大による影響に加えマスク文化の定着によりリップクリームなどが減収となったことに加えインバウンド需要も低迷いたしました。一方、メラノCCやデオコは引き続き好調に推移しており、和漢箋やロートV5粒も増収となりました。また、(株)日本点眼薬研究所も好調でありました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、販売費及び一般管理費の効率的活用に努めたものの、売上が減少したことに加え、医療用医薬品開発に向けて研究開発費を増やしたことにより、104億8千5百万円（同 8.6%減）と減益となりました。

(アメリカ)

外部顧客への売上高は、58億5千2百万円（前年同期比 11.7%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響で、目薬やリップクリームなどが減収となったものの、メンソレータム軟膏は堅調に推移いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が伸び悩んだものの販売費及び一般管理費の削減により、1億7千万円（同 267.1%増）と増益となりました。

(ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、59億4千2百万円（前年同期比 12.6%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症によるロックダウンの影響で、主力の消炎鎮痛剤や化粧品が減収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、販売促進費及び広告宣伝費を効率化した結果、4億7千9百万円（同 134.9%増）となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、328億7千7百万円（前年同期比 9.6%減）となりました。

売上につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を効果的にコントロールした台湾などは従来通りの経済活動へと復帰してきており、インドネシアやベトナムなどASEAN諸国も堅調に推移しております。主力の中国において上半期は大きく落ち込みましたが、下半期以降はリップクリームが苦戦しているものの目薬や50の恵みなどスキンケア関連が回復傾向となっております。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、厳しい事業環境のもと、販売促進費及び広告宣伝費の低減に努めたものの、56億1千2百万円（同 7.1%減）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、12億6千6百万円（前年同期比 3.0%減）となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、6千4百万円（同 31.1%減）となりました。

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は2,152億2千6百万円となり、前連結会計年度末より7千4百万円減少いたしました。これは、現金及び預金が38億9千4百万円、商品及び製品が20億7百万円、原材料及び貯蔵品が16億2千1百万円それぞれ増加した一方、電子記録債権が66億6千5百万円、受取手形及び売掛金が28億7百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債総額は674億5千3百万円となり、前連結会計年度末より78億1千5百万円減少いたしました。これは、長期借入金が11億4千3百万円、支払手形及び買掛金が11億1千万円増加した一方、未払費用が55億7千7百万円、未払法人税等が18億3千3百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては1,477億7千2百万円となり、前連結会計年度末より77億4千万円増加いたしました。これは、利益剰余金が80億7千1百万円、その他有価証券評価差額金が15億1千8百万円それぞれ増加した一方、為替換算調整勘定が18億7千8百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績は、おおむね計画通りに推移しているため、2020年5月12日に公表いたしました通期の業績予想は変更しておりません。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,307	49,201
受取手形及び売掛金	32,900	30,093
電子記録債権	17,893	11,228
商品及び製品	16,504	18,512
仕掛品	3,218	2,607
原材料及び貯蔵品	10,903	12,524
その他	3,757	4,582
貸倒引当金	△377	△238
流動資産合計	130,108	128,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,048	19,481
その他（純額）	28,412	29,965
有形固定資産合計	48,460	49,447
無形固定資産		
のれん	3,373	2,973
その他	1,945	2,847
無形固定資産合計	5,318	5,820
投資その他の資産		
投資有価証券	23,880	24,586
その他	10,258	9,706
貸倒引当金	△2,725	△2,846
投資その他の資産合計	31,413	31,446
固定資産合計	85,192	86,714
資産合計	215,301	215,226
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,324	12,435
電子記録債務	2,919	2,363
短期借入金	2,105	2,341
未払費用	25,629	20,052
未払法人税等	4,555	2,722
賞与引当金	2,643	1,262
役員賞与引当金	40	22
返品調整引当金	557	497
売上割戻引当金	2,178	2,257
その他	10,161	9,353
流動負債合計	62,117	53,308

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
固定負債		
長期借入金	5,190	6,334
退職給付に係る負債	4,317	4,375
債務保証損失引当金	1,957	1,903
その他	1,685	1,532
固定負債合計	13,151	14,145
負債合計	75,269	67,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,504	6,504
資本剰余金	5,661	5,661
利益剰余金	131,985	140,057
自己株式	△4,935	△4,936
株主資本合計	139,215	147,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,144	5,662
為替換算調整勘定	△2,617	△4,495
退職給付に係る調整累計額	△1,843	△1,725
その他の包括利益累計額合計	△316	△558
新株予約権	382	382
非支配株主持分	749	661
純資産合計	140,032	147,772
負債純資産合計	215,301	215,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	138,119	129,611
売上原価	55,175	52,910
売上総利益	82,944	76,701
返品調整引当金繰入額	100	—
返品調整引当金戻入額	—	60
差引売上総利益	82,843	76,761
販売費及び一般管理費	64,717	59,699
営業利益	18,126	17,062
営業外収益		
受取利息	371	260
受取配当金	502	329
持分法による投資利益	—	332
その他	479	476
営業外収益合計	1,353	1,398
営業外費用		
支払利息	95	97
為替差損	—	290
持分法による投資損失	1,124	—
貸倒引当金繰入額	—	282
その他	188	364
営業外費用合計	1,408	1,034
経常利益	18,072	17,426
特別利益		
持分変動利益	—	37
固定資産売却益	153	—
投資有価証券売却益	1,428	29
関係会社株式売却益	—	2,723
特別利益合計	1,581	2,791
特別損失		
固定資産除却損	—	82
減損損失	—	1,435
投資有価証券評価損	377	1,411
関係会社株式売却損	—	16
関係会社株式評価損	144	247
貸倒引当金繰入額	149	—
関係会社貸倒引当金繰入額	20	—
特別損失合計	690	3,192
税金等調整前四半期純利益	18,962	17,024
法人税等	6,353	5,927
四半期純利益	12,609	11,097
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,562	11,083

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	12,609	11,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△883	1,518
為替換算調整勘定	△2,119	△1,916
退職給付に係る調整額	91	118
持分法適用会社に対する持分相当額	△263	△59
その他の包括利益合計	△3,174	△339
四半期包括利益	9,434	10,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,447	10,841
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	△83

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響について

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	87,012	6,626	6,803	36,371	136,813	1,305	138,119	—	138,119
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,592	1,084	58	2,574	6,309	29	6,339	△6,339	—
計	89,605	7,710	6,861	38,945	143,123	1,335	144,458	△6,339	138,119
セグメント利益	11,472	46	204	6,044	17,766	92	17,859	266	18,126

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額266百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	83,671	5,852	5,942	32,877	128,344	1,266	129,611	—	129,611
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,314	823	35	2,561	5,734	21	5,756	△5,756	—
計	85,986	6,675	5,977	35,439	134,079	1,288	135,367	△5,756	129,611
セグメント利益	10,485	170	479	5,612	16,747	64	16,811	251	17,062

- (注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカ等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。
- 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。
- 3 セグメント利益の調整額251百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,435百万円であります。